



データでみる福島再生

最近の動き

○除染等工事の進捗状況

- ・特定復興再生拠点区域における除染工事の進捗は9割を超えており、概ね実施済みですが、引き続き進捗率の向上に取り組んでいく予定です。
- ・令和4年6月12日に葛尾村、令和4年6月30日に大熊町、令和4年8月30日に双葉町、令和5年3月31日に浪江町、令和5年4月1日に富岡町※の特定復興再生拠点区域の避難指示が解除されました。

※点・線拠点については、別途協議のうえ避難指示が解除される見通し

○除染仮置場等の状況（福島県内）

- ・仮置場等総数1,372箇所のうち、31箇所では除去土壌等を保管中、1,341箇所では搬出が完了し、1,070箇所の仮置場で原状回復が完了しました。

○中間貯蔵施設の整備の現状

- ・除去土壌の分別処理を行い、3月末時点で、約1161.2万 m^3 （輸送量ベース）の土壌を土壌貯蔵施設に貯蔵しました。
- ・廃棄物の焼却及び焼却灰の灰処理を行い、3月末時点で、灰処理ばいじんを封入した鋼製角形容器17,804個を廃棄物貯蔵施設に貯蔵しました。

○中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送の進捗状況

- ・2023年3月末時点で、約1,346万 m^3 の除去土壌等（帰還困難区域を含む）を中間貯蔵施設へ搬入しました。

○中間貯蔵施設用地の状況

- ・用地取得については、3月末時点で契約者数1,853人、面積約1,285haについて契約しております。

○国直轄による対策地域内廃棄物等の処理進捗状況

- ・災害廃棄物等の仮置場への搬入については、2月末時点で、約332万トンの搬入を完了しました（うち、約57万トンが焼却処理済、約229万トンが再生利用済）。
- ・被災家屋等について、2月末時点で、約18,100件の解体申請を受付済であり、約17,500件を解体済です。

○国直轄による対策地域内における仮設焼却施設の設置状況

- ・2月末時点で、約143万トン（除染廃棄物を含む）を各仮設焼却施設で処理しました。

○特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況

- ・3月末時点で、269,376袋を特定廃棄物埋立処分施設へ搬入しました。

○放射線に関するリスクコミュニケーション活動状況（3月実施）

- ・放射線リスクコミュニケーション相談員支援センターにおいて、研修会を1回、住民セミナーを2回、車座意見交換会を4回実施しました。
- ・環境再生プラザにおいて、専門家派遣を4回、移動展示を3回実施しました。
- ・内部被ばく検査（WBC）を4日間実施しました。
- ・ガンマカメラを活用し、仮置場の現状回復後の放射線測定を2台日実施しました。

○帰還困難区域等における鳥獣の捕獲状況

- ・令和4年度の捕獲数は、イノシシ188頭、アライグマ254頭、ハクビシン73頭となっています。